



2015.10.23 韓国、政府会計財政戦略センター所長、日本公認会計士協会を訪問



韓国財政研究院の政府会計財政戦略センター（Government Accounting and Finance Statistics Center）所長キム・ウォンヒ Kim Wanhee 博士と同センター研究員スング・ホ・ジョング Seong-ho Jeong 博士が 22 日（木）来日された。

23 日（金）、一行は日本公認会計士協会に梶川融副会長を訪問。同協会関川正主任研究員・元常務理事、非営利会計他担当村瀬智弘氏も出席。

韓国財政研究院、行政評価運営センターの元鍾鶴 Jpng-Hak Weon 博士（未来を創る財団評議員）も参加し、日韓の公会計（政府会計）の比較論を討議。

韓国では、2009 年政府会計を企業会計並に制度化（日本は現在公会計の制度整備中）



した結果、巨額の軍人、政府職員の退職年金債務が計上され、未来の世代の負担が顕在化し、大きな社会問題になった由。

韓国の政府債務の GDP 比率は 36.5%（2013 年現在、<http://goo.gl/ISivJW> ご参照）と低いが、少子化では日本に追いつく可能性があり、官民とも危機感は強い。

相互に情報共有する重要性を確認し、今後も交流を深めることを確認した。